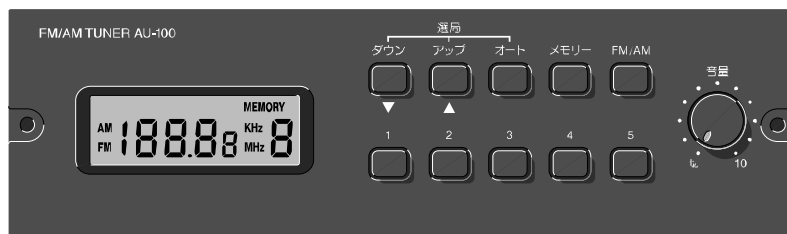


UNI-PEX

取扱説明書

FM/AM
ラジオチューナーユニット

AU-100



このたびは、FM/AMラジオチューナーユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(上図の場合は分解禁止)が描かれています。



この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



この記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに組込機器の電源を切り、販売店などにご連絡ください。



組込機器の電源プラグをコンセントから抜く

取付作業、及びお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く感電の原因となることがあります。



専用機器以外に接続しない

この機器は専用機器に組み込んでご使用いただくように設計されています。専用機器以外に接続すると火災、感電、けがの原因となります。



分解 / 改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



異物を入れない / 濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

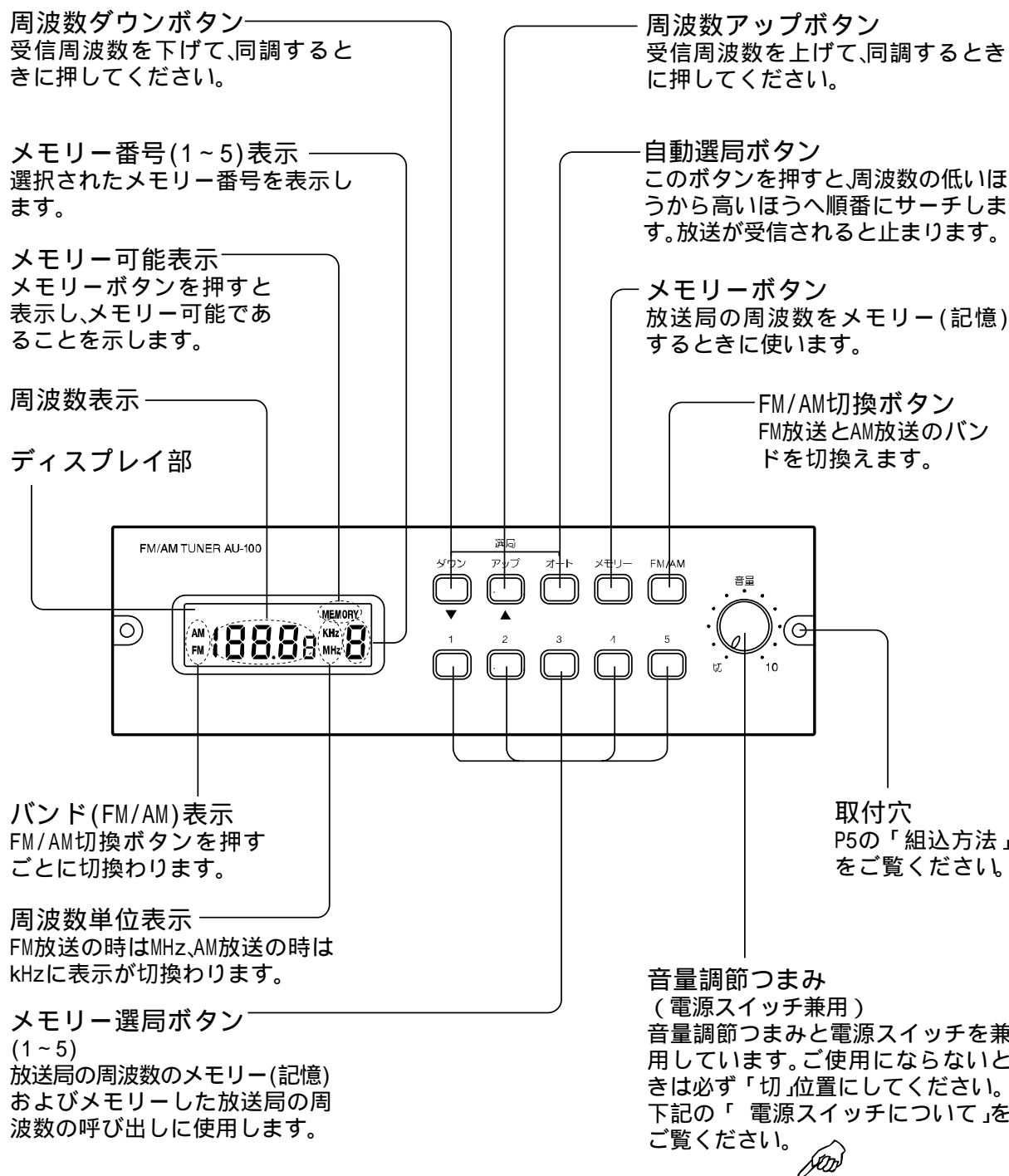


取り付ける機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って取り付けてください。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

各部の名称と説明（前面）



電源スイッチについて

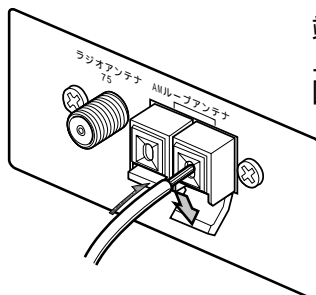
本機の電源が入りますと電源制御機能がはたらきます。組込機器にCDプレーヤーユニット AU-200 (被電源制御ユニット)が一緒に収納されている場合は本機の電源が入りますとAU-200の電源が自動的に切れます。本機をご使用にならないときは、本機の音量調節つまみ(電源スイッチ兼用)を必ず「切」位置にしてください。

各部の名称と説明（後面）

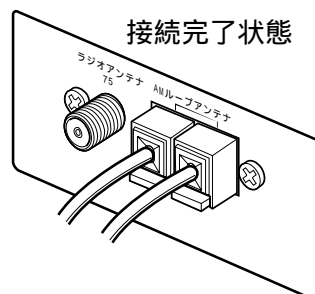
AMループアンテナ端子

付属のAMループアンテナ（AM放送受信用）を接続します。
P8の「AMループアンテナ（付属）について」をご覧ください。

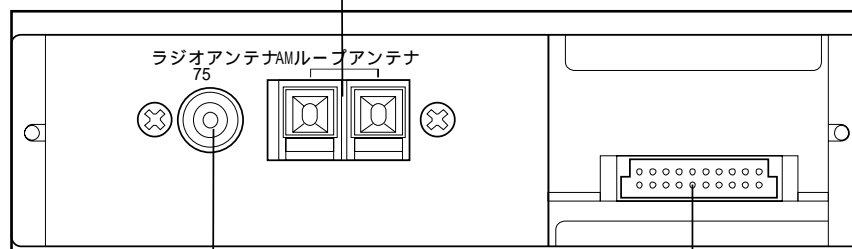
端子のレバーを下げて
AMループアンテナ（付属）
の接続コードの芯線を
差し込む



端子のレバーを
上げて芯線を
固定する



接続完了状態



接続コネクタ

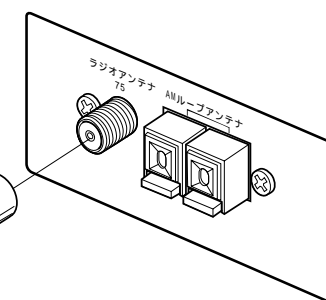
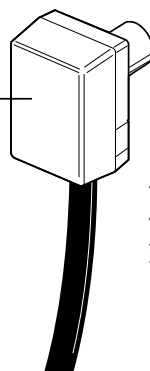
本機をユニット挿入口に装着し、軽く押し込みますと、挿入口内部のコネクタに接続されます。
P5の「組込方法」参照。

ラジオアンテナ端子

FMアンテナをラジオアンテナ端子に接続してください。接続線は必ず同軸ケーブルを使用してください。

F形アンテナ端子（付属）

同軸ケーブルを使用してラジオアンテナと接続してください。
P5の「付属のF形アンテナ端子の接続のしかた」をご覧ください。



付属のF形アンテナ端子を使用し、ラジオアンテナ端子に接続してください。

付属のF形アンテナ端子の接続のしかた

付属のF形アンテナ端子に同軸ケーブルを下記の要領で接続してください。
適合同軸ケーブルは3C-2V、または5C-2Vです。

同軸ケーブル末端処理寸法 (単位: mm)

芯線
ポリエチレン シールド線
同軸ケーブル

カバーのロック用ツメ(2ヶ所)を開き、端子部を引上げてください。

固定金具を矢印の方向に締付け、シールド線を固定する

芯線をねじで固定する

同軸ケーブルの末端を上記の寸法に処理し、芯線とシールド線部分を下図と左図のように固定して元どおりにカバーを閉めてください。

端子部を引上げる
ロック用ツメ
端子部
ケーブル通し穴
カバー

芯線
シールド線
端子部

接続完了状態

組込方法

警告 取付作業をおこなう場合は必ず、組込機器の電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. 本機を組み込む機器の前面のユニット挿入口と後面のアンテナコネクター部の両ブランクパネルを各々2本の取付ねじをはずし取り除いてください。はずしたねじ(M3×8)は本機を固定するときに使用しますので紛失しないようご注意ください。
2. 本機を組込機器前面のユニット挿入口に挿入し、軽く押し込んで本機の接続コネクターを挿入口内部のコネクターに接続してください。
3. 本機を「1.」でははずした2本のねじで固定してください。(図1参照)
4. 本機後面のアンテナコネクターにアンテナを接続してください。

ご注意 本機をねじで固定する前に、必ず本機後面のコネクターが組込機器側のコネクターに確実に接続されているか確認してください。確認事項は以下のとおりです。

- ・本機前面パネルと組込機器の挿入部周辺が同一面に揃っていますか。
- ・本機後面のパネル(アンテナコネクター部)が組込機器後面の角穴からずれていませんか。

図1

警告 機器の接続・組込・初期設定の調整、変更などは火災、感電、けが、故障の原因となりますので、必ず工事店に依頼してください。

本機をユニット挿入口に挿入し、ブランクパネルを取り付けていたねじを使用し固定する

ユニット挿入口 (組込機器前面)

FM/AMラジオ
チューナーユニット
AU-100

「被制御」を「通常」に変更する場合

本機は組込機器本体のオートマチックフェーダ - 回路のはたらきで自動的に音量が減衰する「被制御」に設定されています。自動的に音量が減衰しない「通常」で使用される場合は本機後部の基板上的ジャンパーピンを「通常」側に差し換えてください。

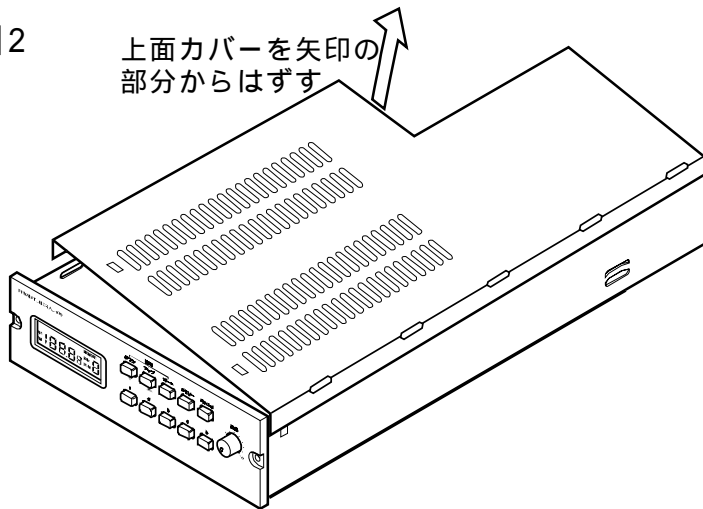
ジャンパーピンを通常側に差し換える場合

本機を既に機器に組み込まれているときは本機を組込機器より取りはずしてください。

1. 本機の上面カバーをはずしてください。(図2参照)
2. 本機内部の-slot基板上的ジャンパーピン(J1)を差し換えてください。(図3, 4参照)
3. 「1」でははずした上面カバーをもとどおり取り付けてください。
4. P.5の「組込方法」の説明をご覧ください、本機を機器に組み込んでください。

図2

上面カバーを矢印の部分からはずす



警告

機器の接続・組込・初期設定の調整、変更などは火災、感電、けが、故障の原因となりますので、必ず工事に依頼してください。

図3

ジャンパーピン (J1)
slot基板

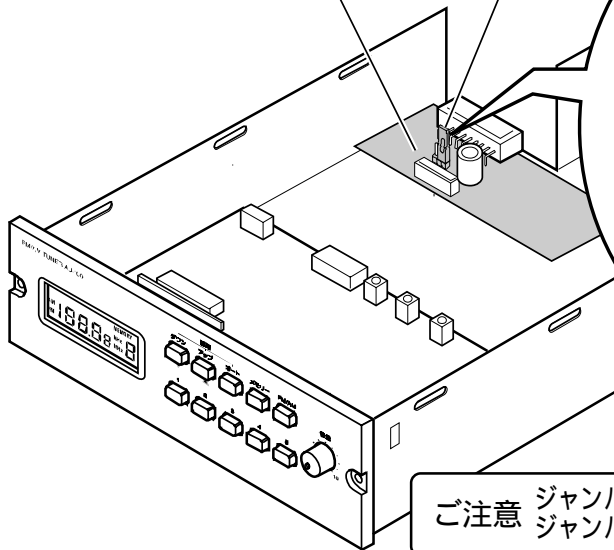
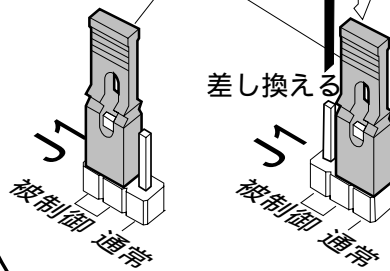


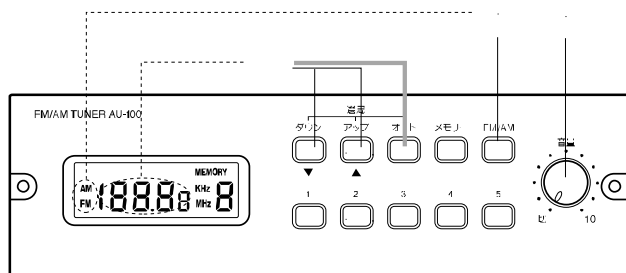
図4

ジャンパーピン (J1)
差し換える
被制御 通常
被制御 通常
ジャンパーピンを「被制御」側から「通常」側に差し換える



ご注意 ジャンパーピンを接続しないと音声が出力されません。ジャンパーピンを紛失しないようご注意ください。

使い方



受信する放送局の周波数に合わせます

手動選局の場合

周波数アップボタンまたはダウンボタンを押して希望の放送局の周波数に合わせてください。
周波数アップボタンまたはダウンボタンを0.5秒以上押し続けると連続して周波数が変化します。

自動選局の場合

自動選局ボタン(オート)を押して希望の放送局の周波数に合わせてください。自動選局ボタンを押しますと周波数の低いほうから高いほうへ順番にサーチします。放送が受信されると止まります。

音量を調節する

電源スイッチ / 音量つまみをまわし適切な音量に調節してください。

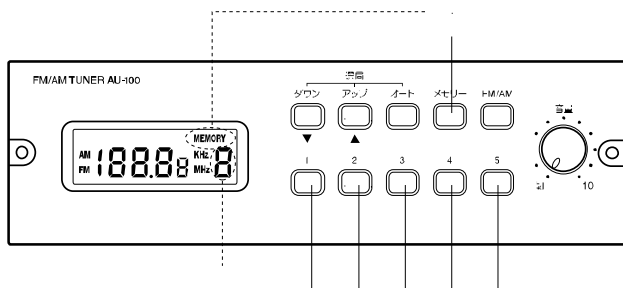
電源を入れる

電源スイッチ / 音量調節つまみを切の位置から右まわしにしますとカチッという音が出て電源が入り、表示部に各表示が表示されます。

受信するバンドを選ぶ

FM/AM切換ボタンを押し、表示部のバンド(FM/AM)表示を受信するバンドに切換えてください。

放送局のメモリーのしかた



放送局の周波数をFM/AMそれぞれ5局(計10局)記憶させることにより、選局はメモリー選局ボタン(1~5)を押すだけでワンタッチでおこなえます。次の要領で放送局の周波数をメモリー(記憶)してください。

上記の「使い方」の ~ 手順で記憶させたい放送局の周波数に合わせてください。

メモリーボタンを押してください。表示部右上にMEMORYの表示が約4秒間表示されます。

MEMORYが表示されてる間に、ご希望のメモリー選局ボタン(1~5)を押して記憶させてください。表示部のMEMORY表示が消え、押したメモリー選局ボタンの番号が表示されます。

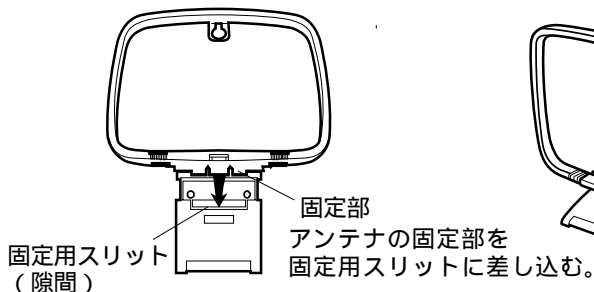
プリセットメモリーについて

本機はメモリー保持用電池を内蔵していますので、約2週間プリセットメモリーの内容を記憶しています。電池は充電式で、組込機器側の電源スイッチが入っていれば自動的に充電されますが、機器の設置当初や長期間ご使用にならないとプリセットメモリーが消える場合があります。

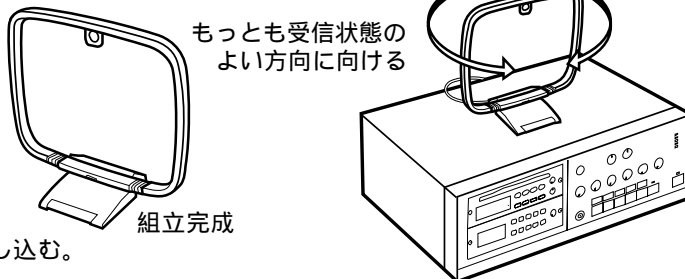
AMループアンテナ（付属）について

AMループアンテナの組み立てかた

アンテナを組み立てる。

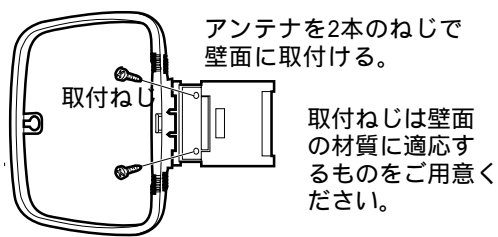


AMループアンテナを組み立て、機器に接続してください。アンテナをもっとも受信状態のよい方向に向けてください。

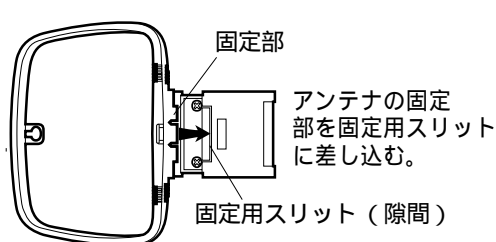


AMループアンテナの壁面取付方法

アンテナを2本のねじで壁面に取付ける。



アンテナを垂直に固定する。

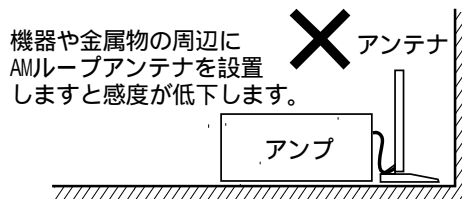
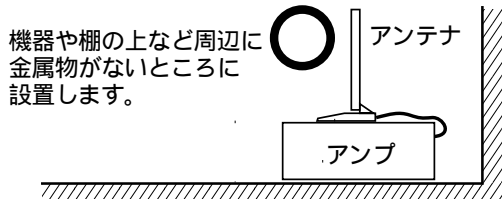


取付完成

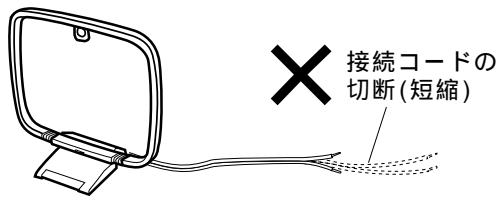
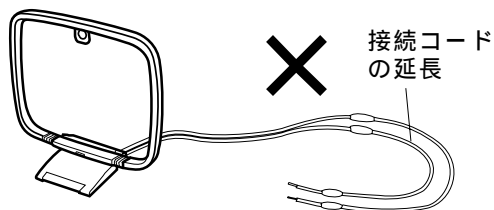
機器がラックなどに設置される場合は、AMループアンテナを機器の近くの受信状態の良い場所に設置してください。

AMループアンテナの設置上のご注意

AMループアンテナを機器または金属物の周辺に設置しますと感度が低下します。AMループアンテナは機器または金属物から離して設置してください。



AMループアンテナの接続コードは切断したり、延長したりしないでください。また、付属のAMループアンテナ以外のアンテナは使用しないでください。十分な感度を得られません。



アンテナの接続のしかた

警告 機器の接続・組込・初期設定の調整、変更などは火災、感電、けが、故障の原因となりますので、必ず工事に依頼してください。

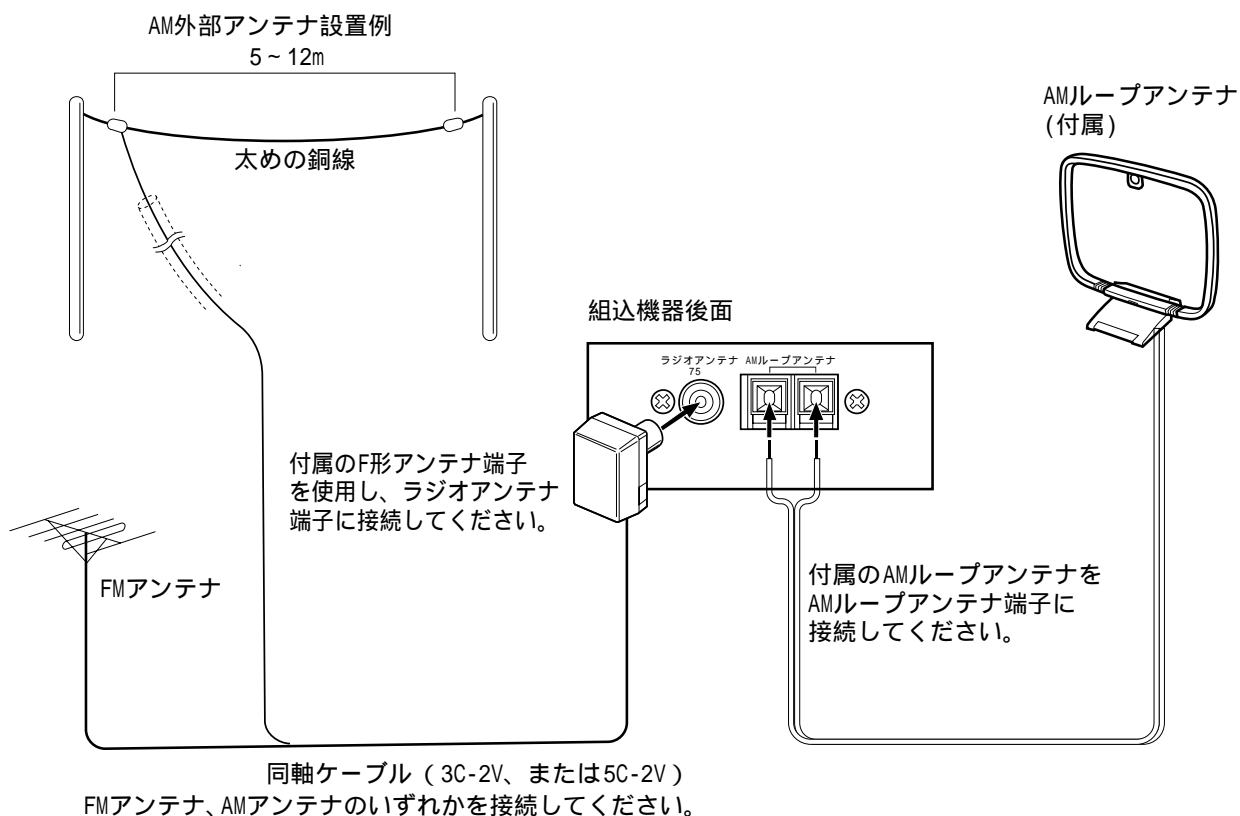
FM放送を受信するとき

- ・ FMアンテナをラジオアンテナ端子に接続してください。接続線は必ず同軸ケーブルを使用してください。
- ・ FM放送を良好に受信していただくために、市販のFM専用アンテナを設置されることをお勧めします。

AM放送を受信するとき

- ・ 付属のAMループアンテナの接続端子を本機のAMループアンテナ端子に接続してください。
 - ・ AMループアンテナで十分に受信できない場合はAM外部アンテナを設置してください。接続線は必ず同軸ケーブルを使用し、ラジオアンテナ端子に接続してください。（図5参照）
- 注 AMループアンテナはAM外部アンテナを接続される場合でも接続しておいてください。

図5



点検方法

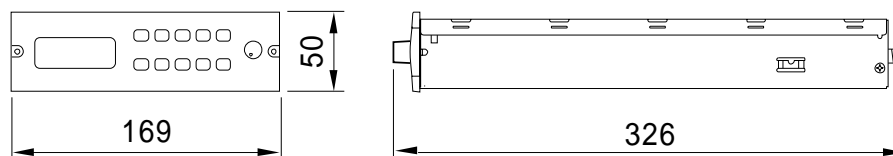
ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな？と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

症 状	点 検 項 目	対 策
全く動作しない	組込機器の電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ディスプレイ表示灯が点灯していますか。	組込機器の電源スイッチを入れてください。 電源スイッチ兼用の音量調節つまみで電源を入れてください。
音声が出てこない	音量調節つまみが最小になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
	目的の放送局に選局されていますか。	P7の「使い方」をご覧くださいになり、正しく選局してください。
	アンテナは接続されていますか。	接続を確認してください。

定格

使用電源	DC 12V 組込機器本体より受電
消費電流	200mA以下
受信周波数	AM : 531 ~ 1602kHz / FM : 76.0 ~ 90.0MHz
アンテナ入力	AM : ループアンテナ / FM : 75
実用感度	AM : 30dB μ V(1kHz 30%変調 S/N比20dB) FM : 12dB μ V(1kHz 75kHzFM S/N比30dB)
定格出力	-22dBV
使用温度範囲	0 ~ +40
寸 法	幅 169mm、高さ 50mm、奥行 326mm
質 量	約920g
付 属 品	取扱説明書（保証書付）1、AMループアンテナ 1、F形アンテナ端子 1

外観寸法図（単位：mm）



連絡先のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。
販売店に修理を依頼する場合は下記の項目をお確かめください。

品名 品番 お買い上げ日 故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

ご転居されたり、ご贈呈品などで販売店に修理のご相談ができない場合は最寄りの下記弊社営業所にご相談ください。

札幌営業所	〒064-0811	札幌市中央区南11条西 10-2-17	TEL.(011)511-5505(代)	FAX.(011)511-5529
釧路営業所	〒085-0025	釧路市宝町 3-8	TEL.(0154)25-3156(代)	FAX.(0154)25-6261
仙台営業所	〒984-0015	仙台市若林区卸町 3-6-11	TEL.(022)232-1295(代)	FAX.(022)232-1297
東京営業所	〒110-0008	東京都台東区池之端 2-3-17	TEL.(03)3821-3721(代)	FAX.(03)3827-5423
新潟営業所	〒950-0922	新潟市山二ツ 4-6-19	TEL.(025)287-3611(代)	FAX.(025)287-3613
金沢営業所	〒920-0362	金沢市古府 1-190	TEL.(076)240-4577(代)	FAX.(076)240-6737
静岡営業所	〒422-8037	静岡市下島 152-5	TEL.(054)238-1446(代)	FAX.(054)238-1453
名古屋営業所	〒466-0051	名古屋市昭和区御器所 1-3-29	TEL.(052)871-1671(代)	FAX.(052)872-4128
大阪営業所	〒556-0005	大阪市浪速区日本橋 4-2-7	TEL.(06)6632-2855(代)	FAX.(06)6644-1624
岡山エリア連絡先			TEL.(086)244-2317(代)	FAX.(086)244-4461
高松営業所	〒760-0079	高松市松縄町 525-1-203	TEL.(087)868-1181(代)	FAX.(087)868-1331
広島営業所	〒730-0016	広島市中区鞆町 5-29	TEL.(082)222-5511(代)	FAX.(082)222-5513
福岡営業所	〒810-0074	福岡市中央区大手門 3-9-15	TEL.(092)721-5000(代)	FAX.(092)721-5089
鹿児島営業所	〒890-0052	鹿児島市上之園町 8-12	TEL.(099)250-0220(代)	FAX.(099)257-3327

ユニペックス株式会社

本社/営業本部 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近 3-6
お客様相談窓口 (CS課) TEL.(072)855-3334